※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　美術科

教科	美術科	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術Ⅱ」　（日文）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・あなたの見たこと、覚えていること、感じたことなどを平面や立体で表現します。授業では技法と素材・画材を提示します。素材・画材の特質を最大限に生かし、自分の思いや考えを表現できる能力を磨きます。
・作品を作る際に、教科書や美術関係の図録などを参考にすることや、友達の作品を互いに鑑賞したり自分の作った作品を実際に使ってみたりすることで、鑑賞の能力を深め、今後の制作に役立てましょう。
・展覧会に展示する作品を作ることを目標にし、鑑賞者の側に立った作品の見方も考えながら制作しましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創作活動を通して、創造的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、関わる・資質・能力を育成することを目指す。

(1) 対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し造形的に表すことができるようにする。（a 知識・技能）
(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成して創造的に発想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(b 思考・判断・表現)
(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。(c 主体的に学習に取り組む態度)

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解している。創造的な美術の表現をするために必要な技能が身についている。テーマや表現内容に応じて技法や素材・材料について、基本的な知識を持ち、かつ自分なりに考えて応用することができる。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し創造的な表現の構想を練っている。また、意図に応じて、表現方法や技法、素材・材料について自ら考え工夫している。	材料や技法を自分なりに工夫し、一つの作品に対し多くのエスキースを作っている。また、テーマに即して、主体的に資料を集めたり、芸術家の作品に興味を持ったりして、調べ学習をしている。完成後の振り返りシートでは客観的に自らの作品に対して論評を述べ、次の作品に生かしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	美術って何だろう?	教科書や図録を鑑賞し、多様な表現形式について学び「美術Ⅱ」の学習のイメージを持つ。	多様な表現に興味・関心を持って教科書を参考にワークシートに取り組む。質問にも自分の言葉で答えられる。(a) 美術作品のよさや美しさ、面白さを感じ取ること、また、その作品の生まれた背景についても理科を深めようとする。(b)	ワークシート	ワークシート	取り組む姿勢
	大きな絵画	自分の心の中を見つめ描きたいことを表現できるようにテーマを決める。 構図や色彩を吟味し、自分の描きたいもののイメージに近づけていく。 絵の具の特性を生かして、描き進めていく。 途中経過の段階で友達と相互評価する。 完成作品のプレゼン。	自分を見つめ自分らしい表現ができるように下調べをするなどして、自分の作品と向き合おうとしている。(a) 自分の表現したいことを表現できる構図や色彩の構成をよく練っている。 油絵の具の特性を生かし表現方法を工夫し、目的に合わせ個性的な表現をしている。(b) 製作途中で表現に迷って時などは著名な画家の作品を参考にする。 友達の作品を見て感想を述べたり、自分と違う表現を発見したりする。(c)	制作の様子 作品 振り返り	制作の様子 作品	クロッキー帳の下絵 振り返り
2学期・3学期	絵本を作ろう	自分の心の中を見つめ絵本に描きたいことを表現できるようにテーマを決める。 物語のテーマを考えそれにあった絵と文を考える。 構図や色彩を吟味し、自分の描きたいもののイメージに近づけていく。 絵具の特性を生かして、描き進めていく。 途中経過の段階で友達と相互評価をする。 完成作品をプレゼンする。	紙と絵の具の特性を理解し、飛び出す絵本など立体にも挑戦し表現方法を広げている。(a) 友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の作品に生かす。手作りの本を手にとってその温かみや楽しさに触れ、また製本の工夫なども発見し今後の制作につなげる。(b) 過去の作品や図録や雑誌、店舗などに出向き実際の絵本に触れ、物語の内容やデザインのよさや美しさを感じ取り、自分の作品に生かすために主体的に取り組んでいる。制作のための準備や後片付けを率先して行っている。(c)	制作の様子 アイディアスケッチ 作品 振り返り	制作の様子 アイディアスケッチ 作品	制作の様子 アイディアスケッチ 作品 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度